

指定管理者制度導入施設 中間評価シート

1 基本情報

公の施設名	相模原市立新磯ふれあいセンター及び相模原市立相模の大風センター
指定管理者名	公益財団法人 相模原市まち・みどり公社
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立ふれあいセンター条例及び相模原市立相模の大風センター条例
施設の設置目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康の保持及び増進並びに高齢者の福祉の向上に寄与する（相模原市立ふれあいセンター条例第2条） 相模の大風文化の保存、継承を図るとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、もって豊かな市民文化の向上に寄与する（相模原市立相模の大風センター条例第2条） 相模原市立新磯ふれあいセンター及び相模原市立相模の大風センターは、直営の新磯こどもセンターを併設している。三施設を合わせた複合施設の愛称を「れんげの里あらいそ」とし、各施設が連携を図ることにより世代を超えた交流の場となることを複合施設設置の目的としている。
施設概要	所在地:相模原市南区新戸2268番地1 構造:鉄骨造一部鉄筋コンクリート2階建 面積:れんげの里あらいそ 延床:3,068.40㎡ 敷地:5908㎡ 新磯ふれあいセンター 1,610.95㎡ 相模の大風センター 937.82㎡
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課、南区役所 地域振興課

2 管理実績

項目（単位）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用人数	新磯ふれあいセンター	62,175	313	20,146		
	相模の大風センター	10,261	1,419	4,062		
	全体合計（人）	72,436	1,732	24,208		
利用料金	新磯ふれあいセンター	3,740,285	15,375	1,641,555		
	相模の大風センター	298,000	0	179,100		
	全体合計（円）	4,038,285	15,375	1,820,655		

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う施設休所について

○新磯ふれあいセンター

- 令和元年度:令和2年3月1日～31日で休所(329日の開所)
- 令和2年度:令和2年4月1日～令和3年1月3日、1月8日～3月21日の期間で休所(14日間の開所)
- 令和3年度:令和3年8月6日～9月30日(302日間の開所)

○相模の大風センター

- 令和元年度:令和2年3月1日～31日で休所(329日の開所)
- 令和2年度:令和2年4月1日～7月9日、令和3年1月8日～3月21日の期間で休所(192日間の開所)
※工作室については令和2年7月10日～12月28日を利用中止
- 令和3年度:令和3年8月6日～9月30日(302日間の開所)

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 2.5
	C		D				

指標	
指標名（単位）	施設利用率(夜間を除く)
指標式と指標の説明	専用利用に係る承認件数／専用利用申込み可能件数

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（単位）		63%	64%	65%	
実績値（単位）		53.7%	(※) 13.6%	45.3%	
達成度（%）		85.2%	(※) 21.2%	69.7%	

(※) 令和2年度については開所期間が短かったことから評価対象外。開所期間（14日間）の実績値及び達成度。

4 事業の実施状況

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 18
	S		A				

市が指定する事業		
主な事業名	内容等	効果等
高齢者ふれあいの湯	濃縮温泉水を使用し、温泉気分を味わっていただき、健康増進を図る。	山中湖平野温泉石割の湯の濃縮温泉水を使用し、入浴を通じて心身の健康増進を図った。
風の展示	大風センターに寄贈された風等の展示を行う。小学校等の授業で見学に来ることも多く、施設の目玉となっている。	相模の大風文化の振興に寄与した。
大風まつり写真展	相模の大風まつり写真コンクールに応募いただいた写真を、館内及び当公社が管理運営する市内公共施設の巡回写真展で展示する。	相模の大風文化の振興に寄与した。
風作り教室	風の絵付けや、竹骨の組み立て、糸目付を通して日本の伝統文化「風」の魅力を伝える。児童の参加が多く、文化の継承に役立っている。	相模の大風文化の振興に寄与した。

企画提案事業		
主な事業名	内容等	効果等
リンパの流れとヨガ教室	ヨガ体操を通してリンパの流れを良くする。	体操系の講座は比較的人気が高く、この講座も含め多くの利用者に参加してもらうことで、高齢者のフレイル予防に寄与できている。
ソフトエアロビクス&リンパストレッチ教室	音楽に合わせて体を動かし、ストレッチ等を行う。	運動を通じて、心身の活性化を図り、運動の楽しさや親しみを促進し、定期的な運動習慣を身に付けていただくことに寄与した。
ふれあい寄席	世代交流の一環として、大学生による落語を大広間で開催し、利用者の世代交流を図る。	大学生の寄席を高齢者が楽しむことで、世代間交流が図られた。
バウンドテニス教室	屋内で楽しむことができるバウンドテニスを通じて仲間づくりを図る。	定期的に運動の習慣をつけることで健康の増進を図るとともに仲間づくりに寄与した。
高齢者健康相談等 (地域包括支援センター共催)	地域の高齢者を対象に、健康・介護の相談を行い、介護予防の知識を学ぶ。	近隣の地域包括支援センターと共催し、地域一体となり、高齢者福祉に寄与することができた。

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A		A				15

利用者満足度調査

調査手法	調査手法:利用者満足度調査(アンケート)
目標値の基準	利用満足度の設問に対する「満足」と「概ね満足」の合計の割合

新磯ふれあいセンター

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	90%	90%	90%		
実績値（％）	95.7%	-	98.4%		
達成度（％）	106.3%	-	109.3%		

相模の大凧センター

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	90%	90%	90%		
実績値（％）	93.8%	-	100.0%		
達成度（％）	104.2%	-	111.1%		

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
ご意見箱	ご意見箱を設置し、いつでも気軽にご意見を受け付けられるようにしている。
事業参加者アンケート	自主事業開催時に参加者を対象にアンケートを実施。受け付けたご意見を参考に、新規事業等に反映していく。
施設利用団体連絡会	毎月1日に実施している専用利用の抽選会の際に、団体に対する連絡事項及び団体からのご意見等のヒアリングを行っている。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
ふれあい美術展にて使用する展示パネルをきれいにしてほしい。	職員でペンキの塗り直しをした。
相模の大凧まつりの昔の様子を展示してほしい。	相模の大凧文化保存会と協力し、「相模の大凧まつり」の昔の様子を撮影した写真をパネル展示した。
展示大凧に穴が開いているため、修繕してほしい。	展示大凧の和紙の張替えを実施。
交流広場のカーテンが汚いため、取替えてほしい。	剰余金の還元として、交流広場のカーテンを全て取替えました。
卓球台を増やしてほしい。	卓球台を1台購入した。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 20
	S	S	S				

施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	67,845	71,845	69,410		
指定管理料	63,794	64,268	63,991		
利用料金収入	4,038	18	1,821		
その他の収入	13	7,559	3,598		
支出 (b)	67,535	54,799	58,562		
人件費	26,521	23,043	25,823		
本社管理経費	6,316	4,618	4,462		
その他の支出	34,699	27,138	28,277		
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	310	17,046	10,848		
自主事業収入 (d)	851	145	459		
自主事業支出 (e)	829	120	204		
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	22	25	255		
全体収支 【(c)+(f)】	331	17,072	11,103		
備考	指定管理料の返還分については、対象年度の翌年度に返還されていることから上記金額に含まず。 返還金額：令和元年度分488,091円、令和2年度分14,255,855円、令和3年度9,133,344円				

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
加点の有無	無	無	有		
主な加点内容			指定管理者作成の文書管理規程に基づき適切に文書が保管されており、個人情報を含む廃棄文書についても適切に処理されていることから加点とする。		

8 提案事項のうち未実施のこと

主な事項	内容等	理由・今後の実施見込等
なし		

9 提案事項にないが実施したこと

主な事項	内容等	効果等
SNSを活用した施設PR	幅広い世代に施設を知っていただくため、提案事項に含まれているFacebookのほか、Instagramを活用しPRを行った。	施設での事業の写真等を使い、タイムリーに市民に発信することができた。今後も継続的に実施し、多くの市民の方に情報を提供するよう努めていく。
館内BGM	これまでは無音であったが、USENを活用したBGMを導入することで、明るく居心地の良い空間を提供し、利用しやすい環境を目指した。	利用者から、施設内の雰囲気が良くなったとの声が寄せられており、利用しやすい環境作りに寄与している。
大凾を背景としたフォトスポットの設置	展示ホールにある大凾をバックにしてセルフで写真撮影ができるフォトスポットを設置した。	大凾を見学にいらした方がフォトスポットを活用して撮影されている姿が見られた。今後はハッシュタグを検討するなど、撮影された写真がSNSに投稿されるよう促していきたい。
施設ホームページの刷新	まち・みどり公社全体のホームページではなく、施設独自のホームページを作成することで、利便性向上と新規利用者の獲得を図った。	利用者が「れんげの里あらいそ」の情報をダイレクトに得られ、的確な情報発信と周知ができています。
みどりのカーテン設置	春～夏にかけて事務所の外にゴーヤを植え、みどりのカーテンにすることで、節電及びエコ活動に貢献した。	窓から入る直射日光を遮ることで、エアコンや扇風機の使用量を減らし、地球に優しいエコ対策になった。
アイス自動販売機の設置	アイスを取り扱う自動販売機を設置し、利便性向上を目指した。	施設周辺にスーパーやコンビニがなく、食料を調達できないため、利用者から好評である。
新型コロナウイルス感染症対策	館内のアルコール消毒・検温器の設置、職員による館内消毒、パーテーション設置、浴室・貸室の定員制限を行った。	安心して施設を利用していただけることに寄与した。
季節に合わせた館内の飾りつけ	ハロウィンやクリスマスの時期に飾りつけを行った。	立ち止まって見ていく方や、写真撮影をする方が多く、皆さまに楽しんでいただいた。

10 指定管理者の自己評価

令和元年度からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、施設休所や利用制限により利用率が激減したが、感染予防対策として、検温器の設置、指先消毒を徹底するなど、利用者が安心・安全に施設を利用できる環境に努めた。また、利用制限がある中でも、魅力的な自主事業の実施や各種メディア等を活用した施設PRにより、徐々に利用率も回復している状況である。また、利用者満足度調査においては、常に利用者目線に立ち、ご意見やご要望に対して迅速に対応したことで、当該調査の結果においても、毎年度、高い評価が得られている。これらの高い満足度については、積極的な自主事業（SNS（Instagramの開設）による施設PRの実施、施設独自のホームページの開設、年間を通じた緑化推進を図るための各種取組など）を展開した結果によるものとする。

現指定管理期間は残りわずかな期間となるが、令和5年度については、キャッシュレス決済（PayPay）の導入やコンビニの移動販売、他施設との連携事業を計画しており、利用者の更なる利便性向上を図り、利用率の向上に繋がりたいと考えている。

11 所管課意見

令和元年度の指定管理開始から今日に至るまで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらの大変厳しい施設運営となったが、感染症拡大防止の取り組みや、施設休所期間における管理費の削減など、指定管理者として主体的に施設を運営された点について高く評価している。加えて、接遇では、丁寧かつ利用者に寄り添う対応ができており、地元から愛される施設となっている。

一方で、こどもセンターを含めた施設間同士の交流が希薄で、それぞれの施設が隔絶しているように見受けられる。子供から高齢者まで、まさに多世代が集う場である「れんげの里あらいそ」のメリットを最大限に活かした事業を企画、提案していただき、複合施設内での世代間交流についても積極的に実施していただきたい。

大風センターに関しては、SNSを開設するなど積極的な訴求活動を行っており、引き続き継続的に取り組んでいただきたい。

12 選考委員会意見

・事業の実施状況や利用者の満足度、施設の経営状況の評価については、高位安定しており、残りの指定管理期間においても、引き続き高い水準を維持されることを期待したい。また、指定管理者の応募時の提案になかった事項に関して、積極的に実施していることについて、非常に高く評価している。

・本施設の成果指標については、施設利用率を設定しているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、達成度が低い傾向にある。残りの指定管理期間の中で、成果指標の達成に向けた更なる創意工夫溢れる事業を実施し、この成果指標を達成することを大いに期待したい。加えて、相模の大風センターの担い手でもある大風ボランティアの高齢化等が問題となっているが、市と協調し、指定管理者のスケールメリットを生かした取組を期待したい。

・成果指標の達成度以外の項目は、高評価になっていることから、なぜ、成果指標の達成度が上がらないのか、立地も含めて地域的な課題がないかの考察が必要と考える。

総合評価（自動判定）

A

(72/100)

